

社員への情報共有はデジタルサイネージで！ 大塚商会が導入、生産性向上に威力

「日経 x TECH SPECIAL」より

提供：株式会社マウスコンピューター

企業には、一人ひとりの社員に確実に伝え、全員で共有したい情報があふれている。だが、日々の業務に追われる社員に、情報を確実に伝えることは案外と難しい。こうした悩みを解決する手段として、デジタルサイネージに注目が集まっている。本社ビルのほぼ全フロアにデジタルサイネージを設置した大塚商会で、導入と運用を担当した人事総務部 総務課 係長の吉見正之氏に、その狙いと効果的な運用方法を聞いた。



大塚商会 人事総務部 総務課 係長 吉見 正之 氏

デジタルサイネージは忙しい社員に気づきを与えるツール 視認性や表現力の高いディスプレイが重要

2019年11月末、大塚商会本社ビルのほぼ全フロアのエレベーターホールの両脇に、デジタルサイネージが設置された。社内の生産性向上に余念がない同社でも、情報連絡に課題を抱えていたからだ。

「デジタルサイネージには、社員に気づきを与えるツールとしての適性があります。動画などで具体的・印象的に情報を社員にアピールでき、加えて社員の誰もが通る場所にディスプレイを置けば、高い確度で目に留まります」と吉見氏はいう。

デジタルサイネージ用のディスプレイは、iiyamaのデジタルサイネージ向け49型ワイド液晶ディスプレイ「ProLite LH4982SB」。明るい環境でも優れた視認性を誇り、広視野角による見やすい画像表示と高コントラストによるメリハリのある画像表示を実現している。



エレベーターホールに設置されたデジタルサイネージ

「サイネージは表示の美しさが何よりも重要です。『ProLite LH4982SB』は、輝度が700 cd/m²、コントラストが1300:1とディスプレイの基本性能が非常に高く、どのような環境でも色飛びしない美しい表示ができます。コストパフォーマンスの面でも他社製品に勝っていました。社内から『とてもきれいで、情報が見やすい』との評価をもらっています」と吉見氏は語る。

コンテンツの運用・管理の機材は、自社で扱うサイバーステーション製の『たよれーる デジサイン クラウドシステム』を採用。iiyama製ディスプレイは同システムと円滑に連携できる点もポイントだった。

部署や地域を超えて会社を1つにするツールに

導入したデジタルサイネージのソリューションでは、専門的な知識は不要。複合機でスキャンしたポスターをコンテンツとして公開することも可能だ。

大塚商会はデジタルサイネージの社内導入を機に部門横断の委員会を立ち上げ、社員や現場の士気向上を狙い、各部署がコンテンツを出し合うことも検討しているという。また、「新しい利用法を積極的に試し、オフィスで活用するための知見やスキルを蓄積しています」と吉見氏は明かす。



大塚商会の社員食堂 と、食堂の天井に設置されたカメラ

サイネージとAIを活用して、社員食堂の混雑具合をリアルタイムに可視化

その一例が、社員食堂の混雑具合の可視化だ。天井のカメラで撮影した映像をAIで分析し、エレベーターホールに設置された各デジタルサイネージに混雑具合を「○」「△」「×」の3段階で表示する。食堂内の映像をそのまま映すこともできるが、記号で示した方がより直感的に混雑状況が分かる。



デジタルサイネージに表示される社員食堂の混雑具合

「AIやBIツールで分析した高度な情報を分かりやすく伝える方法を追求していきます。残業状況を可視化して、自然に残業を減らせる環境作りもできると考えています」（吉見氏）という。こうした先進的なソリューションに社員が日常的に触れていれば、顧客に営業する際にも説得力が増すだろう。

大塚商会は全国の拠点にも同じデジタルサイネージシステムの導入を進めている。地域ごとの営業部や全国の支店が、サイネージを通じて同じ情報に触れる、風通しのよい職場環境ができあがる。部署間のつながりがより密接になり、会社組織の活動が活性化すると期待できる。

オフィスでのデジタルサイネージの活用は、業務の生産性や社員の生活の質を向上させるための有効な手段になるだろう。アイデア次第で活用のシーンは大きく広がりそうだ。

関連サイト

日経 x TECH
<https://tech.nikkeibp.co.jp/atcl/nxt/special/18/00001/012200010/index.html>



株式会社 大塚商会
<https://www.otsuka-shokai.co.jp/>



製品紹介

iiyama のデジタルサイネージ向け49型ワイド液晶ディスプレイ

ProLite LH4982SB

- 高輝度 700cd/m²、高コントラスト 1,300:1、IPSパネル搭載
- 豊富な映像入出力端子
 DisplayPort (IN / OUT)、HDMI (IN、2端子)、DVI-D (IN)、DVI-I (OUT)、D-Sub (IN)、BNC (IN、Y / Pb / Pr)
 ※接続に必要な主要ケーブル (DisplayPort / DVI-D / HDMI) を同梱
- 24時間連続使用※に対応 (※1日の最長使用時間)
- 設置場所に合わせて選べる3モデル
 49型の他に、42型「LH4282SB」、55型「LH5582SB」をラインアップ

デジタルサイネージ向けワイド液晶ディスプレイ「ProLite LH」シリーズ
 スペシャルサイト：<https://www.mouse-jp.co.jp/iiyama/products/lcd/signage/>



豊富な映像入出力端子

PCもディスプレイもマウスコンピューターで



MousePro

検索 <https://www.mouse-jp.co.jp/business/>



iiyama

検索 <https://www.mouse-jp.co.jp/iiyama/>

製造元：



株式会社 マウスコンピューター
 〒103-6026 東京都中央区日本橋2-7-1
 東京日本橋タワー26階

法人・教育機関のお客様のご購入・ご相談は

03-6739-3808

受付時間：月～金 9時～18時 (土日祝日、弊社指定日を除く)

パートナー企業様からのご購入については

03-6739-3810

受付時間：月～金 9時～18時 (土日祝日、弊社指定日を除く)